

3)

十全大補湯、補中益気湯による好中球誘導作用の検討

関西鍼灸短期大学

○戸田静男

目的・マウス腹腔に人参養栄湯を投与することにより接種局所に好中球の集積が短時間でなされることが、認められた。人参養栄湯は、手術後の体力低下、虚弱体質などを目標として用いられている補剤である。今回は同様の目標で用いられている補剤である十全大補湯、補中益気湯についても、同様に検討した。

方法・十全大補湯、補中益気湯それぞれのエキス水溶液を調製した。その投与方法及び好中球集積反応の観察は、山崎らの方法によった。すなわち、それぞれのエキス水溶液をddY マウス腹腔に投与後、腹腔内細胞を採取し、塗抹標本を作製し、ディフィ・クイック染色にて観察した。

結果と考察・十全大補湯、補中益気湯いずれも濃度依存的に好中球を集積した。それは、レンチナンと匹敵するものであった。また、腹腔内投与後集積が増加していき6時間後が最大であり、それ以後は減少した。以上のように、十全大補湯、補中益気湯いずれも好中球のような生体防御にかかわる細胞を活性化するものと思われる。

結論・十全大補湯、補中益気湯は短時間で接種局所に好中球を集積させることが、認められた。